広報 さめがわ 8

平成7年 No.500



身近な情報をあなたに！

「広報さめがわ」はこの8月号で500号を迎えました。より身近な情報を皆さんの手元にお届けします。

発行／編集　鮫川村総務課　〒978-04 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39の5 TEL(0247)49-3111　　印刷／佐藤印刷所



広報はあなたと村を結ぶパイプ役 —500号特集—

「広報さめがわ」は、昭和二十七年九月に創刊以来この八月号で五百号を迎え、四十三年間皆さんの手元に届けられています。毎月発行される「広報さめがわ」を皆さんはどのように感じていますか。今、村は「住んでみたい村、住みつづけたい村」を目指していろいろな事業に取り組んでいますが、そのためには村民皆さんの協力が必要です。そして「広報さめがわ」は、村民と村をつなぐパイプ役となり皆さんの役に立ちたいと思っています。五百号を機会により親しまれ、より充実した「広報さめがわ」にするため、村内小・中学校の児童・生徒の家庭を対象に行ったアンケートの結果をお知らせします。

683世帯にアンケート 回収率は85%に

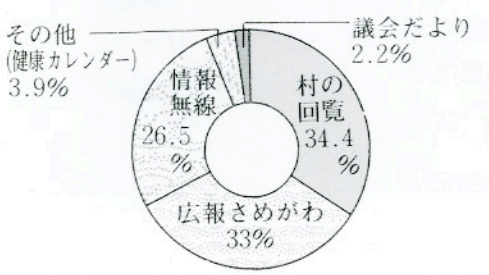
「広報さめがわ」に関するアンケートは村内の六つの小学校と中学校を通じて児童・生徒の家族を対象に協力をお願いしました。依頼世帯はすべての児童・生徒合わせて六百八十三戸で、五百八十人から回答があり、回収率は八十五%でした。

アンケートの内容は、村の行事などを何で知るか、広報さめがわを読んでいるか、またどんな内容をよく読んで、今後はどのような企画や記事、編集を望むかなどで、村民の皆さんの率直な意見をいただきました。

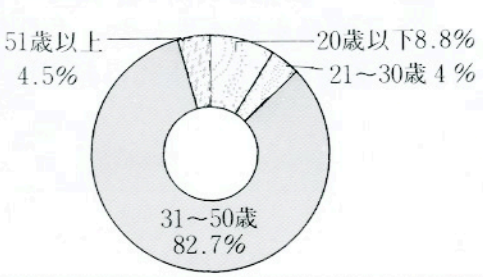
問1ではアンケートに先だって性別、年齢、職業を尋ねました。

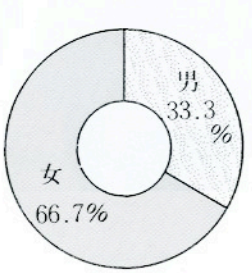
回答者五百八十人中男性が三十三・三%、女性が六十六・七%で、年齢をみてみると「三十一～五十歳」が八十二・七%と最も多く、次いで「二十歳以下」が八・八%、「五十一歳以上」が四・五%、「二十一～三十歳」が四%になっています。「三十一～五十歳」が一番多い理由は児童・生徒の父母の皆さんが回

問2 村の行事は何で知りますか



問1 性別・年齢







93%の方が広報を読んでいます

問3「広報さめがわを読んでいますか」の質問には「毎回読む」が六十七・七%、「時々読む」が二十九・四%で、毎回読むと時々読むを合わせると九十七・一%の方に読まれていることがわかりました。

村の話題・動きに興味

問3に関連して実際にどんな記事が読まれているのか興味のあるコーナーを項目ごとに調べました。問3-①をご覧ください。

皆さんが一番興味をもっているのは「村の話題」三百三十六人で、次に「村の動き」二百七十五人、「村の施策などの特集記事」が二百三十九人と続き、「ふたりでバトンタッチ」が二百人「お知らせ」が百九十一人となっています。

このことから、村内でのできごとや村がどのような事業を行い、どのように動いているかに興味をもっていることがわかりました。

94%の方が読みやすいと回答

問4「広報さめがわは読みやすいですか」の質問には「大変読みやすい」が十五・一%、「読みやすい」の七十九・八%と合わせると九十四・九%の方が読みやすいと感じていることがわかりました。

また読みにくいと感じている十四人にその理由を尋ねた結果、「漢字が多い」「専門用語が多い」「文章がむずかしい」やその他の意見として、つまらない、文章が多すぎる、レイアウトを考慮すべきなどの意見もあり、反省をしながら、今後の編集に役立てたいと思います。

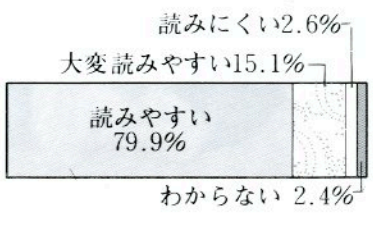
村の情報収集は回覧・広報さめがわや無線で

問2「村の行事や催しものは、主に何で知りますか」をご覧ください。複数回答可で尋ねたところ八百十五の回答がありました。そのうち「村の回覧」が三十四・四%、次に「広報さめがわ」が三十三%、「情報無線」が二十六・五%、「議会だより」が二・二%となっており、その他として健康カレンダー、新聞などがあげられています。この結果から回覧、広報さめがわ、情報無線が村の情報を知る媒体となっていることがわかります。

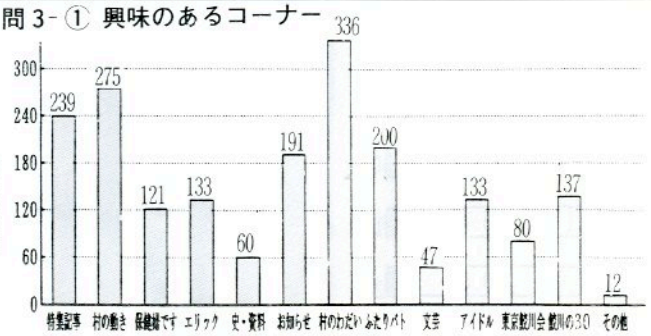
答したものと思われます。

また、職業別では「会社員」が四十五・五%と一番多く、次いで「主婦」十二・六%、「農業」十・九%、「自営業」九・三%、「学生」八・三%の順に続き、これらを総合すると三十~四十歳代の女性の会社員または主婦の回答が多かったことがわかります。

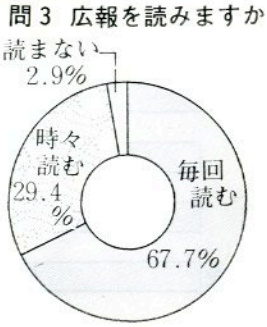
問6 広報は読みやすいですか



問3-① 興味のあるコーナー



問3 広報を読みますか



82%の方が広報を保存

問5「あなたの家庭では広報さめがわを保存していますか」の質問について、「毎回保存しておく」が四十四%、「時々保存しておく」が四十三・九%、「保存していない」が十二・一%で、保存している家庭が全体の八十七・九%となっていることがわかりました。

また、保存用ファイルは村に寄贈されたものを皆さんに配布していますが、それを利用して保存されるようお願いします。

2人に1人の割合で広報に登場

問6「あなた又はあなたの家族が広報に登場したことがありますか」の質問に、五十二・五%の方から登場したことがあると回答いただきました。今後は五千人の村民全員が登場できるよう、より身近で親しまれる広報さめがわを目指してがんばりますので、身近な情報などをお寄せください。

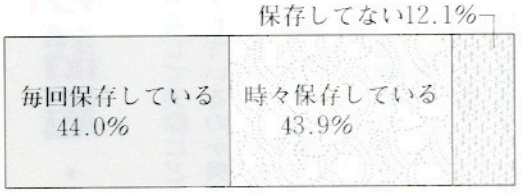
紙面は現在のままがいい

問7「広報紙面に望むことはありますか」では平成六年五月号から紙面をA四版に大きくし、文字も前より一回り大きくしましたので、広報紙面について尋ねました。

まず紙面については八十六%、文字は八十五・三%の方が現在のままという回答でした。写真については六十一・四%が現在のまま、三十五・一%が多くすることを望んでいるという結果です。またページ数についても六十四・九%が現在のまま、三十・五%が多くすることを望むという回答でした。この結果から紙面については現在のままという回答が多いことがわかりました。

内容に関する意見の中でカラーにしてはどうかという意見も多く、また、行事などの写真はマンネリ化しているという意見もありました。

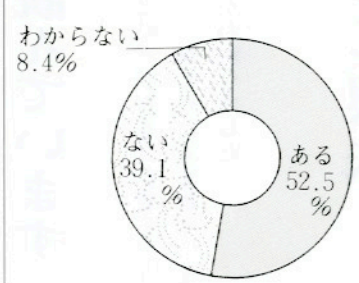
問5 広報を保存していますか



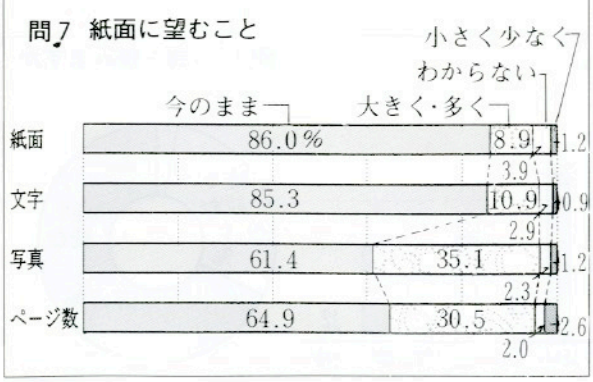
▶渡瀬川で遊んじゃった



問6 広報に登場したことがありますか



問7 紙面に望むこと





楽しく子育てを！「たんぽぽ教室から」

広報にも村民参加が大事



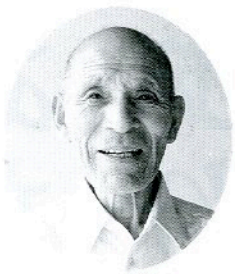
ガンバル鮫川っ子を応援します

最後に問8「広報にどんな記事を望みますか」の質問は複数回答でお聞きしましたが、その結果、「村の行事・お知らせ」が二百八十五人で十四・二%、「学校のコーナー」が二百七十三人で十三・六%、次に「地域のできごと」二百六十二人で十三・〇%、「村民の生の声」二百二十九人で十一・四%、「村政全般の動き」二百十一人で十・五%、「健康に関する記事」百八十二人で九・〇%、「教育・文化面の記事」が百八十一人で九・〇%と続きます。

このことから、情報面の充実と村民のみなさんが登場したりみなさんの声を生かす参加型広報が望まれていることがわかりました。

また、内容に関する意見の中で「子どもたちにも気軽に読める内容にしてほしい」「月々の記録ではなく、もっとみんなが紙面に登場できる村の新聞的なものにしてほしい」「広報クイズなども取り入れてほしい」「シリーズものをもっと増やし村民を多く登場させてほしい」「村の将来について掲載してほしい」「各地区のニュースを毎月とりあげてほしい」などたくさんの貴重な意見をいただきました。現在「みんなのページ」に村民の皆さんに登場いただいたり、特集記事の中で意見を掲載していますが、今後はより広く皆さんの意見を取り上げていきたいと思いますので、皆さんの積極的な意見をお寄せください。

広報さめがわ 500号を祝して



吉田喜雄

（下野町）

広報さめがわの創刊は、昭和27年９月30日（火曜日）当時村長、故吉田義美氏「鮫川村公民舘報」として発刊されたのが始まりで、それが現在に継続されているのです。

その後、昭和33年４月10日（第57号）発行号より、「さめがわ」と名称が変えられて、次に昭和34年６月10日発行号（第71号）より「館報さめがわ」と再度名称が変えられています。

この年の６月号より、故石田前村長「村政の歩み」(1)が、始めて紙上に掲載されました。昭和37年５月15日号(第104号)より名称が変り現在の「広報さめがわ」が続行されているのです。

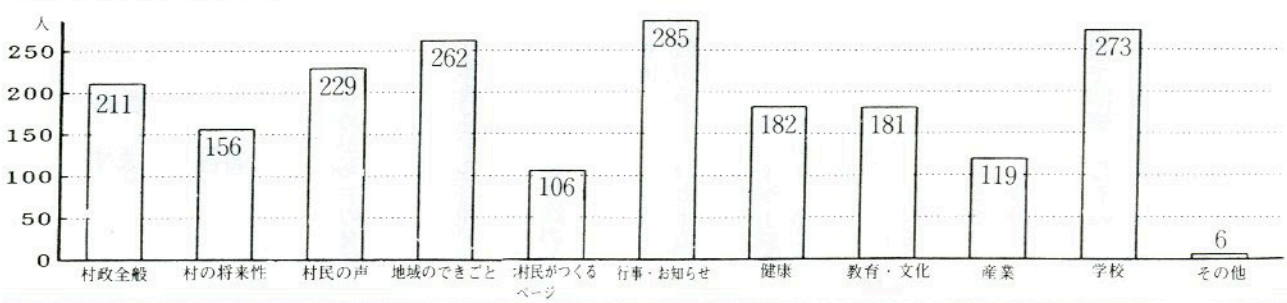
この「広報さめがわ」は村と村民の太いパイプ役として、是非、なくてはならない機関紙であります。読むのが簡単ですが、取材に当たる責任者は容易なるものではありません。私は、常に感謝しております。村民に益々親しまれる機関紙として、長く続行してください。

終りに、私は「鮫川村公民館報」創刊号より現在号まで一部も無くさず保存してあります。500号誠におめでとうございます。



▲ 輝く笑顔がすてきです

問8 どんな記事を望みますか



あなたの声 ありがとうございます

広報アンケートにご協力ありがとうございました。紙面の都合上、皆さんの意見を全部掲載できませんが、貴重な意見をもとに今後も努力していきたいと思います。

・お年寄りの写真を多く載せてほしいです。
・村の行事やお知らせをもっとわかりやすく大きな字で書いてほしいです。
・各地区のニュースを毎月とりあげてほしいです。
・赤ちゃんコーナーを設けて、赤ちゃんの顔を紹介してほしいです。これから赤ちゃんを産む人がみたら励みになり、出生率も良くなるのではないでしょうか。
・カラーが入ると読みやすくなると思います。
・もうすこし、表紙の写真をよいものに。
・表紙をカラーにすればもっと見やすくなると思います。
・手書きの絵をいれるといいと思います。
・漢字には、小さい子も読めるようにふりがなをつけた方がよいと思います。
・お年寄りの皆さんに長生きの秘けつなどを聞くコーナーを設けてはどうですか。
・文章が多すぎる。
・村外に勤めているため、村の動きがわかりません。広報を読むと「そうだったのか」と思うことがたくさんあります。これからもがんばってください。
・写真と文の配置を工夫すべきだと思います。
・イキイキとした紙面を期待しています。
・紙面に緑色などを使って二色刷りにしてはどうですか。
・写真が多すぎるため、ページ数が多く無意味だと思います。
・もっとみんなが読みたくなるような記事があってもいいと思います。
・たとえば道路や橋、施設（建物）など、できあがったものを知らせるだけでなく、その計画の段階から広報に載せてほしい。村民の生の声を聞き、それに村がどう答えるのか、その橋渡し役を広報さめがわに期待します。
・毎月楽しみにしています。これからも私たちが楽しんで見れるよう、保存してもらえるような広報さめがわを期待しています。頑張ってください。ご苦労様です。
・型にはまったありきたりの記事ばかりで、またいつものことかとがっかりしてしまう。村の月々の記録帳ではなく、もっとみんなが紙面に登場できて、村の新聞的なものであってもいいと思います。
・月初めに配布してもらえばと思います。
・子どもの声を多くしてください。
・休日の当番医院の電話番号がわかれば大変役にたつと思います。
・農業に関する施策及び指導の記事がほしい。
・各行政区の活動内容を報告しあう。（一か月ずつ一区ずつ）
・村内の情報を載せてほしい。
・議会の様子などをもう少しとりあげてほしい。
・現在の村のようすは広報でのが現状です。



あなたの質問にお答えします。

質 「広報さめがわ」の発行部数と経費はどのくらいですか。

答 発行部数は千九百部で、月一回、年十二回発行しています。発行部数内訳は次のとおりです。

村内配布　千三百部
東京鮫川会　二百五十五部
その他　三百四十五部

また、平均二十ページで一部当たりの単価は、約百四十六円になります。

質 訪ねてみませんか鮫川の三十景や表紙の写真をカラーにしてはどうでしょうか。

答 白黒で印刷したものが一部百四十六円ですが、表紙と裏ページをカラーにすると、一部当たり五十二円多くかかります。今のところ、年に一回だけカラー印刷をしているのが現状です。

みと言っていいくらい知る機会がありません。時の流れとともに変化しつつある鮫川村ですが、村外へ行っても誇れるよう、村をもっと詳しく知るべきだと思います。そのためにも広報さめがわに期待しつつ努力を続けてほしいと思います。

・半年単位くらいの特集を組んでほしいです。

・特集（シリーズ）を多くして村民を多く登場させてほしいです。

・村の将来について、載せてほしいです。

・一つのテーマに対して村民のさまざまな意見をとりあげてください。賛成、反対、どちらも村政に大切な考えなのだから。

・なぞなぞやクイズをいれてほしいです。

・今、話題になっている事を自由に提案できるコーナーをつくってほしいです。

・何でも疑問、質問などのコーナーをつくってほしいです。

・結果報告の記事ではつまらない。

・今年から予防接種方法が変わったので、早めに広報に載せてほしい。

・現在は平和な日本。終戦五十年を迎えて二度と戦争を繰り返さないために、お年寄りの戦争体験を若者に伝えるような記事も必要なのでは。

・小・中学校の記事を多くしてほしい。

・村で行われる行事などを漏れ無く載せてほしい。

・あとがきを読むのがとても楽しみです。

・行事などの写真は毎年同じでマンネリ化している。行事は新聞などでわかるので、もっと村政のわかるものにしてほしいです。

・毎月大変楽しみにしています。これからも村内のことをたくさん載せてください。

・時折、写真のみで説明のないことがあります。写真に説明をいれてください。

・村民の生の声が多く載っている広報にしてほしい。

・雑誌のようにページの一部に応募券を作りクイズに答えて応募券と一緒に出し、当選者に景品を用意するコーナーを作ったらみんな読むのではないでしょうか。

・身近な人たちが記事になっているととても興味深く楽しいものです。今後も身近な話題を多く取り入れてください。




さめがわ
さめがわ
さめがわ

自主転作により一〇〇%達成

水田営農活性化対策現地確認結果

平成七年度水田営農活性化対策にかかる転作等現地確認事務は六月二十日から二十三日の四日間、関係機関の協力を得て実施しました。

近年の米をとりまく情勢はめまぐるしく変化し、平成五年度からの減反緩和から一転し、平成七年度は二十二ヘクタールが追加され、実質的な転作強化となりました。

本村では転作が定着しているなどを考慮し、昨年同様自主転作としたところです。

現地確認の結果、転作等目標面積一六五ヘクタールに対し、一〇〇パーセントの達成見込みとなりました。

なお、大字別の確認結果表は表一のとおりです。

また、再確認となった転作田現地確認は九月中旬に行います。最近、手入れが行き届かない転作田が目につきます。まわりへの影響や環境整備のうえからも適正な管理に一層のご努力をお願いします。

表1．平成7年度水田営農活性化対策転作等現地確認結果集計表

(平成7年7月17日現在)　　(単位：アール)

大字	転作等目標面積	うち指標面積	転作確認面積	実績算入面積	再確認予定面積	合計	達成率(%)
赤坂西野	2,971	396	2,066	809	96	2,971	100
西山	2,237	298	1,611	514	112	2,237	100
赤坂中野	1,532	204	1,030	251	251	1,532	100
赤坂東野石井草	3,295	440	2,669	555	71	3,295	100
富田	1,852	247	1,602	250	—	1,852	100
渡瀬	2,198	293	1,346	709	143	2,198	100
青生野	1,839	245	1,703	99	37	1,839	100
中央	576	77	262	314	—	576	100
計	16,500	2,200	12,289	3,501	710	16,500	100

※実績算入とは助成補助金交付期間が過ぎたもの



穂いもち病多発のおそれ

村内全域で葉いもち病が発生し、今後の天気推移は曇りや雨の日が多いと予想されるところから、穂いもち病が多発する危険があります。穂ばらみ末期と穂揃期及び傾穂期に徹底防除を行ってください。

西野みどりの少年団準特選に

緑を愛し、緑を守り育てる心豊かな人間性を育む緑の少年団活動実績発表大会で、県内に結成されている35団体がそれぞれ活動状況や地域における貢献度、将来の活動ビジョンなどを発表し、その結果、西野みどりの少年団が昨年の特選に引き続き準特選に選ばれ、前橋営林局長賞を受賞しました。

7月26日、大玉村の県民の森で開かれた緑の少年団県大会の席上表彰を受けました。



▶大玉村県民の森で開かれた県大会終了後撮影

安全運転をお願いします



7月21日　夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の初日、鮫川駐在所前で「交

参議院議員通常選挙投票率は79・23％

参議院議員通常選挙が七月二十三日全国一斉に行われ、村の投票率は七十九・二三パーセントでした。候補者別得票数（表1）、比例代表選出議員選挙名簿届出政党等別得票数（表2）、投票区別投票率（表3）、は次のとおりです。

表1　福島県選出議員選挙候補者別得票数

候補者氏名	得票数
佐藤克朗	一二六
和田洋子	六〇二
谷田栄子	四二
会田長栄	九五七
太田豊秋	一、一二五

表2　比例代表選出議員選挙名簿届出政党等別得票数

政党等名	得票数
平和・市民	11
スポーツ平和党	48
憲法みどり農の連帯	2
青年自由党	12
みどりといのちの市民・農民連合	10
さわやか新党	26
国民党	10
新党さきがけ	73
自由民主党	1,089
平成維新の会	15
第二院クラブ	20
新進党	574
全日本ドライバーズクラブ	15
新自由党	72
日本共産党	210
世界浄霊会	0
日本社会党	386
新しい時代をつくる党	15
雑民党	3
日本世直し党	3
「開星論」のＵＦＯ党	4
教育党	15
日本福祉党	47

表3　参議院議員通常選挙投票区別投票率

投票区	投票率		
	男	女	計
鮫川	73.37％	72.16％	72.74％
西野	86.06	88.49	87.31
西山	78.95	77.23	78.06
富田	79.89	81.66	80.75
渡瀬	79.65	80.38	80.04
青生野	78.75	77.62	78.22
戸草	81.93	85.54	83.73
大房	81.82	91.40	86.74
計	78.96	79.48	79.23



通安全テント村」が行われました。村交通対策協議会、交通安全協会の役員二十五人の方が参加し会社帰りや行楽のドライバーに、ティッシュペーパーやガム、チラシなどを手渡し、安全運転を呼びかけました。

交通安全ファミリー作文募集中！

交通事故を防止するためには、一人一人が交通安全意識を高めルールを守り、マナーを実践することが大切です。

皆さんの家庭や学校、職場、地域などで交通安全について考えたこと、話し合った内容や方法、実行していることなどを作文にして応募してみませんか。

※応募期間　平成七年九月二十日（消印有効）まで

※応募区分

①小学校一・二年生の部
②小学校三・四年生の部
③小学校五・六年生の部
④中学生の部
⑤母親・一般の部

※応募方法

1小学生及び中学生
四百字詰原稿用紙三枚以内
2母親・一般
四百字詰原稿用紙五枚以内

送付先　〒一〇一東京都千代田区外神田二－二－十七共同ビル
㈳日本交通福祉協会
交通安全作文募集係

送付先　〒一〇〇東京都千代田区霞が関三－一－一
総務庁交通安全対策室
交通安全作文募集係

※小・中学生、母親・一般とも作文には、内容にふさわしい題をつけてください。また、応募作品には応募区分、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記してください。
※作文、未発表のもので、自作のものに限ります。

こんにちは
保健婦です
おかわりありませんか


村山保健婦


鈴木保健婦

からだの不自由な方に リハビリを始めます

村では、平成七年八月から楽しみながら参加できる集団リハビリ教室と、在宅での訪問リハビリを開催します。



集団リハビリ
鮫川村ふれあい リハビリ事業

この教室は、病気やけがなどで身体に障害や機能の低下がある方を対象とし、参加される方々との交流を通して、今の生活のワクを広げたり、障害をもっていても楽しいことを見つけ、それを続けていくことで、自分自身の体の機能を今以上に良くしていくことを目的としています。

〔内　容〕
※レクリエーション及びゲーム
※基本的動作、日常生活訓練
※手工芸など
※学習会（一般教養）
※会食、交流会、茶話会
※健康チェック
※身体診査など

理学療法士、作業療法士、栄養士、保健婦などが指導にあたります。

在宅リハビリ
在宅訪問診査 リハビリ事業

この事業は、歩行困難などの身体の条件と地理的条件のためデイサービスや鮫川村ふれあいリハビリ教室などに参加できない方に対し、自宅にお伺いし身体の診査やリハビリなどを実施するものです。

ベッドでの寝たきりの状態から、寝返りや、ベッドでの移動、さらには、座る、立つなどの離床訓練を中心に行い、できるだけ自分のことは自分でできるようにし、生活のワクを今以上に広げていくことを目的としています。

〔内　容〕
※診査（全身状態の診断等）
※助言、指導
・リハビリに関すること（特に離床訓練など）
・福祉サービスなどについて
・補装具の給付及び装着訓練など
・住宅改善などに関すること

福島県身体障害者総合福祉センターの理学療法士、身体障害者福祉司、村福祉係員または保健婦が自宅に伺います。

詳しくは、「健康だより第一〇二号」をご覧ください。

あなたの地域の保健推進員です

シリーズ3
渡瀬区



蛭田トキ子

推進員として、いろいろ勉強させていただいていますが、それを地域の健康増進に役立てたいと思います。残された時間を大切に活動していきたいと思います。



山形　良子

時間の許すかぎり出席し、少しでも多くのことを吸収して、自分のため地域のために頑張っていきたいと思います。



木之内リウ

推進員になって2期になり、これからも皆さんといっしょに勉強し、地域のため自分のためにも頑張りたいと思います。



山形ヨシエ

都合のつく限り出席して、自分自身のためにも視野を広げて勉強していきたいと思います。



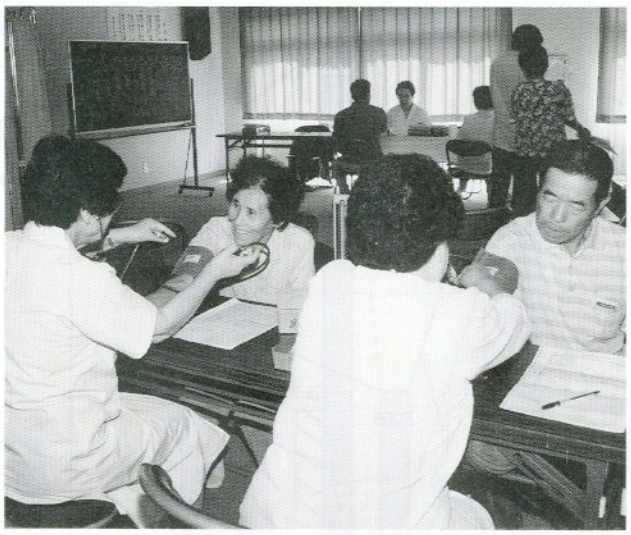
芳賀ヒロノ

保健推進員になって村の行事に参加・協力するようになり、他の地区の人たちとも知りあいになったり、推進員の仕事を通して得ることが沢山あります。



下重シズ子

自分自身のためにも勉強になり、推進員の責任の重さを感じています。



年に一度は定期健診を受けましょう

村では、九月四日から十三日までの内八日間の日程で住民健康診査を実施します。都合のつく会場で受診されるようお願いします。

なお、健診会場によっては、バス送迎もありますのでご利用ください。詳しくは、「健康だより」をご覧ください。

◎検査項目

- 結核検診＝胸部レントゲン（十五歳以上の方）
- 基本健診（四十歳以上の方）

身体計測・血圧測定・尿検査・聴打診・血液検査・眼底検査・心電図検査

◎ 健診日程

健診月日	対象地区	会場	受付時間
9月4日(月)	青生野	青生野集落センター	8:30～11:00
5日(火)	渡瀬	渡瀬区集落センター	8:30～10:00
6日(水)	新宿・道少田・広畑	開発センター	12:30～13:30
7日(木)	富田	富田区集落センター	8:30～11:00
8日(金)	赤坂西野	赤坂西野区民センター	
11日(月)	西山	西山区集落センター	8:30～10:00
12日(火)	赤坂中野（新宿・道少田除く）	開発センター	12:30～13:30
13日(木)	赤坂東野・石井草（広畑を除く）	開発センター	

※今年度人間ドックを受診された方は、受診する必要がありません。

ごみ袋指定・分別収集・有料化試行レポート②

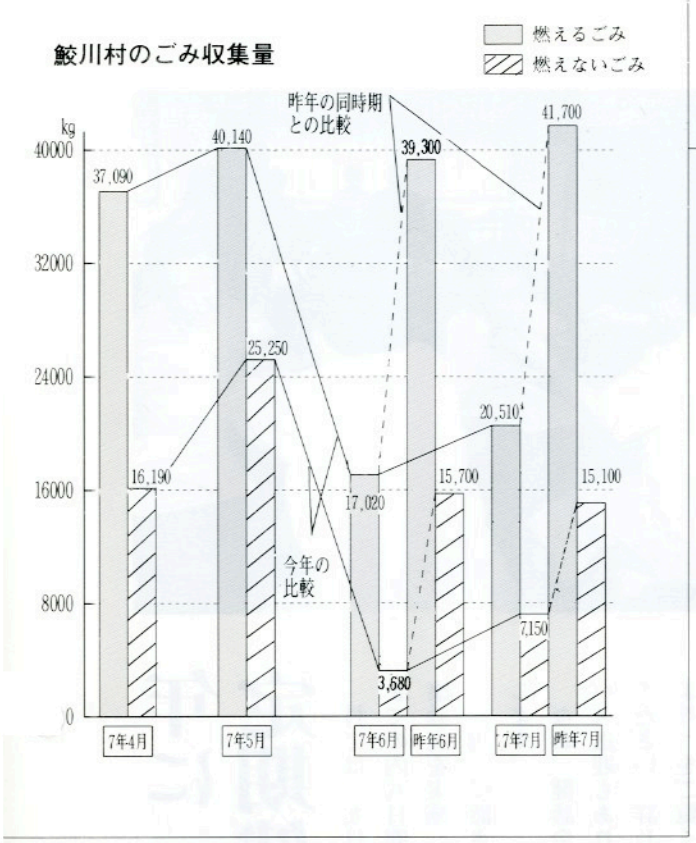
2か月間で収集量が半分に

6月1日からごみ袋指定と分別収集の試行が始まり2か月が過ぎました。今月は、試行開始後鮫川村から出されるごみがどのくらい減ったかを報告します。

左のグラフをご覧ください。グラフは、今年四月から七月までの月別の収集量を表したものです。

まず、東白衛生組合で今年四月から七月までに収集した燃えるごみは、四月が三万七千九十キログラム、五月は四万百四十キログラム、六月は一万七千二十キログラム、七月が二万五百十キログラムと、試行を始めた六月に極端に減少していることが一目でわかります。そして燃えないごみについても同じことがいえます。

五月は六月からの試行開始に伴ってごみの量が増えたものと思われますが、ごみの量が減った要因としては、各家庭で処理できるものは処理するようになったことや、商店などの営業用のごみが一般家庭のごみと区別されてきたことが組合に持ち込まれたごみの量の増加からもわかります。



ごみ減量に大きな一歩

ごみの量が減少したことで、一人ひとりのごみに対する意識が高まってきたことがわかります。

二か月で減量されたと結論は出せませんが、ごみ減量に大きな一歩を踏み出したことになります。



作業しやすくなりました

六月から試行が始まり、私たちが収集するごみの量が減り、分別が徹底されてきました。鮫川村では九十九%の方がルールを守ってごみを出されていますが、名前を書いていなかったり、分別をしていない方がわずかにいます。

いよいよ十月から本実施です。ご協力をお願いします。

清掃指導員も一役買っています

村の清掃指導員は、各行政区から四人ずつと村水産資源保護協会から推せんされた七人の計三十五人で構成され、村の生活環境の向上のためパトロールし、村民の皆さんにごみ管理などの指導を実施しています。

また今年度からは、清掃指導員同士の横の連携や、より一層の活動の強化を図るため、会長、副会長、支部長を設置しました。

ごみの出し方や、不法投棄などの問題が起きた場合は、村役場住民課または、各地区の清掃指導員・支部長などに相談・連絡などをお願いします。

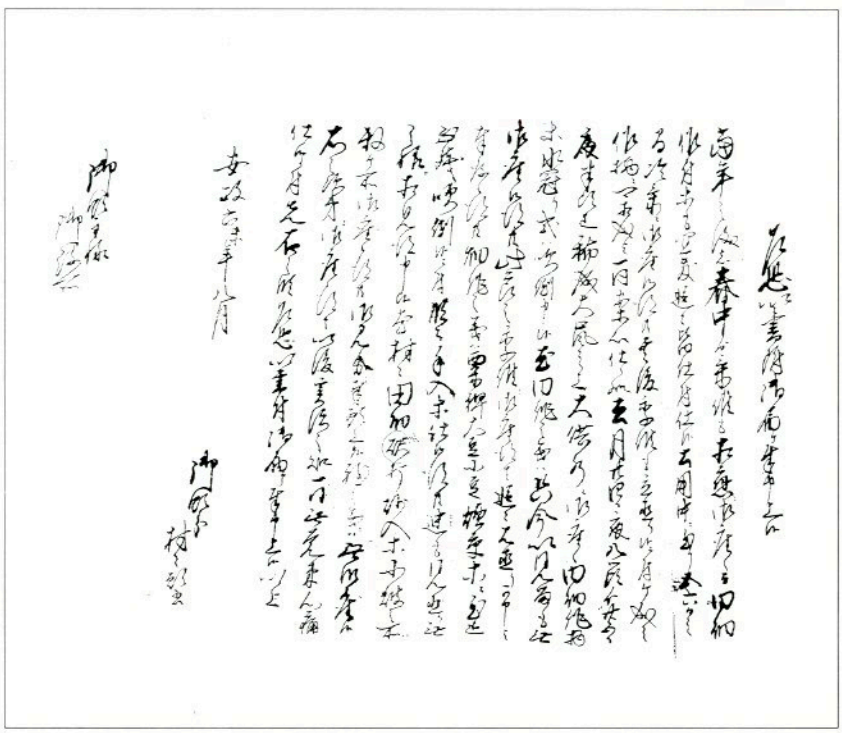
方部など	役員○ ほ支部長	氏名	住所
赤坂西野		白坂久幸	赤坂西野字酒垂一一八
		阿久津榮二	〃 字滑石六八
	会長○	星宗一	〃 字蕨平五〇
		北條平	〃 字岫長一九三
西山		坂本忠雄	西山字岩野草四八
	○	松本定雄	〃 字沼野沢九四
		我妻光男	〃 字落合七八
		関根徳次	〃 字戸倉二一一
赤坂中野		鈴木寛重	西山字馬場六二
		小林栄	赤坂中野字伏木田二-四
		湯座吉男	〃 字真坂七九-一
		矢吹孝二	赤坂西野字大塩四四三-二
	○	中川西吉正	石井草字石井二三
赤坂東野・石井草		鏑木正昭	赤坂東野字内ケ竜一九六
		水野國勝	石井草字中内一三
		本郷廣美	赤坂東野字戸草二九八
		生田目定之助	富田字中沢二一三
富田		蛭田東	〃 字前沼一
		鈴木幸夫	〃 字彦次郎二八七
	○	鈴木利男	〃 字鍬木田三一八
渡瀬		芳賀操	〃 字西野沢一七五
	○	蛭田梅雄	〃 字中山一九-一
		蛭田康之	渡瀬字福原二一〇
		芳賀五郎	〃 字越虫七七

史・資料を探る

村史編さん室

安政六未年（一八五九）台風・洪水之事

長梅雨で低温と日照不足が心配された今年の稲作も七月後半の梅雨明け以後の連日の猛暑で持ち直し、この分でいけばまずまずの作況が期待できそうです。



今後の心配は台風ですが、今から百三十六年前、安政六年（一八五九）七月（旧）襲来の台風がもたらした被害の様子についての届書が残されています。

田畑の作物全般にわたって大きな痛手を被ったことが読みとれます。

文書読み下し文によりご覧になってください。

乍恐以書附御届ケ奉申上候

（恐れながら書付をもって申し上げたてまつり候）

当年の儀は春中より気候も相応に御座候て、田畑作付けなどもよろしく追々みな植付け候、土用中に至り五・六日の間冷気に御座候得ども、其の後季候も立直り、かなりの作柄に相なるべくと一同案心つかまつり候ところ、去る月（旧七月）廿四日夜八ツ時（午前〇時～二時）ころより廿五日夜半ころまでまれなる大嵐の上大洪水に御座候、田畑作物など水かぶり、あるいは吹き倒され申し候、もっとも田畑の義はあわ、ひえ、大豆、小豆、煙草などに至るまで残らず吹き倒され候につき、だんだん手入れなどつかまつり候得どもとても見直りこれなきさまに相見え申し候、もっとも村々田畑泥うち、砂入りなど小破の所数か所御座候得どもご見分願い上げたてまつり候程の義は御座なく候右の次第に御座候得ば以後実法のところ一同覚束なく心痛つかまつり候につき、まず右の段、恐れながら書付けをもって申し上げたてまつり候、以上

御領分

村々願主

御領主様

当古文書は大字石井草（当時の石井草村）中川西安正家所蔵のものです。畑作の中に「煙草」が見えるのも注目されるところではないでしょうか。

このころの石井草村は西山（宝木村・戸倉村）とともに小見川藩（千葉県小見川町）内田豊後の守支配でしたから「領主様」とは小見川藩主となります。

小見川藩は天保九年五月から分領として西山村、仙石村、山上村、論田村、石井草村、赤坂東野村の内と合わせ六か村四千三百余石が知行され、弘化三年八月まで八か年余赤坂中野に陣屋を置き、その後陣屋は仙石へ移されました。

まる一日中吹き荒れ洪水をもたらした台風の恐ろしさいかばかりであったかと想像されます。

水産資源保護協会	青生野	
		○岡部照夫
		金澤助右門
		山形新一
		平久江早利
	副会長○	高木正則
		舟木忠光
		岡部晃
		斎藤平四
		萩原實
		吉保勝
		岡部孝行
		渡瀬字青生野七－一〇
		〃　一四
		〃　八
		〃　九
		赤坂中野字新宿四二
		赤坂東野字広畑三〇－二
		〃　字広畑二四
		〃　字蕨ノ草一六四
		石井草字大根屋敷五〇
		富田字前沼一〇五
		〃　字鍬木田二八七－一二

お知らせ

広報にあなたの写真が出ていたらご連絡ください。さしあげます。

役　場　☎49－3111
鮫川村大字赤坂中野字新宿39－5

「しらかわ建築賞」に応募してみませんか

広域的な街づくりの観点から街並みや自然と調和した優れた建築などを表彰し、よりよい街づくりに対する意識を高めるため「しらかわ建築賞」が次により実施されますのでご応募ください。

※募集対象

白河地方（白河市・西白河郡、東白川郡内）に建築（増改築を含む）された建築物及び環境施設など（広場など）で過去三年以内に完成したもの。（ただし過去に同類の賞を受けたものを除きます。）

※応募方法

自薦、他薦を問いません。

役場建設課に備えてある応募用紙に必要事項を記入し、建築物などの全景や特徴的な部分が写っているカラー写真（六ツ切版）三枚以内と図面（付近見取図、配置図、平面図、立面図など）を指定の封筒に入れて役場に提出してください。

※審査　審査は次の事項を基準とし、書類審査及び現地審査を行い、総合審査します。

(一)街並みに調和し、美しい街づくりに寄与しているもの
(二)すぐれた街並み景観を創出しているもの
(三)建築物などの美しさ
(四)建築物などの機能性
(五)建設技術的にすぐれたもの

※募集期間　平成七年八月一日～平成七年九月三十日

※問い合せ先

㈳福島県建築士会白河支部事務局（☎〇二四七－二四－六二一二）

8月・9月健康カレンダー

種別	実施日時・場所	対象者
二種混合予防接種	8月22日(火) 午後2:00～4:00 村診療所	Ⅱ期　小学校6年生 母子健康手帳、予診票持参
母子健康手帳交付日	8月24日(木) 午前9:00～9:10 開発センター	妊娠と診断された方本人 印鑑持参
風しん予防接種	9月7日(木) 午後2:00～4:00 村診療所	1歳～7歳6か月まで 中学生男女の未接種者 母子健康手帳、予診票持参
4か月児健康診査	8月13日(水) 午後1:00～1:30 棚倉保健所	平成7年4月・5月生まれのうち4か月になったお子さん 母子健康手帳、バスタオル持参
日本脳炎予防接種	夏休み期間中 (8月24日まで)	小学4・5年生、中学3年
風しん予防接種		小学1年、中学生 (風しんにかかったことがない方) 母子健康手帳、予診票持参

雇用保険の雇用継続給付支給が始まります　9月から

〔高年齢雇用継続給付〕

5年以上の被保険者期間のある60歳以上65歳未満の被保険者で、60歳時点の賃金の85％未満で働いている場合に、最高で賃金の25％が支給されます。

4月1日現在60歳以上65歳未満の被保険者は経過措置があります。

〔育児休業給付〕

1歳未満の子を養育するため、育児休業する被保険者に、休業中は賃金の20％が、職場復帰6か月経過後に賃金の5％が休業した月数分支給されます。

4月1日現在、育児休業している被保険者は経過措置があります。

なお、支給を受けるためには、受給資格確認の手続きが必要です。

詳しいことは、ハローワーク（白河公共職業安定所棚倉相談室☎33－2770）におたずねください。

東白衛生組合嘱託職員募集

東白衛生組合では次により嘱託職員を募集します。

※職種及び採用予定人員

火葬員　男性二人

※応募資格

昭和十五年四月二日から昭和五十年四月一日までに生まれた方で東白川郡内に住所を有することなど。

※資格調査　応募者に対し、資格の有無について調査します。

※受付期間

平成七年八月十七日から平成七年九月五日まで。

※応募資格など、詳しいことは東白衛生組合（☎四三－〇三七八）にお問い合わせください。



渡瀬川で遊ぼう



中野長寿会の皆さんの奉仕作業で



幼稚園
お泊り保育で

宅地の利用状況調査

宅地内の立ち入りにご協力を

村では、地籍調査完了地区について、平成九年度の固定資産の評価替えから調査の成果（地目・地積）によって課税することで準備を進めているところです。

特に住宅用地については、固定資産税を軽減するための特例措置を講じるため、地籍調査後の宅地の利用状況を調査することにしました。

このため、次により宅地内に立ち入ることがありますので、ご協力願います。

※調査期間
平成七年八月一日～平成八年三月末日

※調査地区
赤坂西野区、西山区、赤坂中野区

※調査員
鮫川村役場　総務課税務担当職員

塙セリ市場だより（平成七年八月三日）

8月市場の動向

性別	頭数	取引価格 最高	取引価格 最低	取引価格 平均	平均体重	平均日齢	1kg当り単価
	頭	円	円	円	kg	日	円
雌	102	279,040	156,660	272,405	272	316	1,001
去勢	135	648,900	163,770	354,755	297	306	1,191
計	237			319,313	186		1,114

8月の市場は上場頭数237頭（内鮫川村分125頭）で、前回より33頭少なく、平均価格は、去勢が354千円、雌が272千円全体平均319千円と6月より3千円安い取引きとなりました。東平茂号の産子の人気が良い点が価格を安定させているものと思われますが、比較的購売者が少なくやや安い取引きとなりました。

初秋からが繁殖雌牛づくりの適期です。公共放牧場などの放牧場を利用し、低コストで強健な牛を育てましょう。

国税だより

財産を相続したとき

財産を相続したときには、財産をもらった人に相続税がかかりますが、次のような一定の要件に該当した場合などには相続税が軽減されます。

なお、正味の遺産額が基礎控除額の範囲内であれば、相続税はかかりません。

《配偶者の税額軽減》
配偶者が取得した正味の遺産額が、一億六千万円までか、正味の遺産額の法定相続分までであれば、配偶者には相続税はかかりません。

《未成年者控除》
相続人が未成年の場合は、二十歳に達するまでの年数各一年につき六万円が控除されます。

《障害者控除》
相続人が障害者の場合は、七十歳に達するまでの年数各一年につき六万円（特別障害者の場合は十二万円）が控除されます。

詳しいことは、郡山税務相談室（☎〇二四九－三四－六三〇〇）白河税務署（☎〇二四八－二二－七一一一）におたずねください。

今月の納付

村県民税　2期分
国民健康保険税　3期分
国民年金保険料　8月分
8月25日

寄附ありがとうございました

社会福祉事業のために

○岡田　舟木　りい子様
○館山サッキ愛好会
　代表　高木　正則様

〈さぎり荘・開発センター〉
○中野長生会　会長矢吹　啓様
雑布各二十一枚ずつ

〈さぎり荘〉
○前沼　吉保　マサエ様
化粧石ケン二十五個
タオル　三本

心配ごと相談

8月21日（月）
午前10時～午後3時
開発センター

なお、午後一時から午後三時までは、弁護士が相談を受けますので、ご利用ください。

村のできごと

国島将永刀匠誕生



7月9日　刀匠国島将永（国島紀元）さんが長年の夢を実らせ、自宅わきに鍛刀場をつくり、火入れ式を行いました。国島さんは少年時代から刀工にあこがれ、会津若松市内のかじ職人の元で三年間修業しましたが終戦で鮫川村に戻り、昭和六十一年まで村農協に勤めていました。その間も夢を失わず、資金を蓄えていたそうです。昭和六十二年にいわき市で開かれた名刀展を見て思いが強まり、五年前から福島市の藤安将平鍛刀場で修業を重ね、今春文化庁の認可を得て、刀工の道を歩むことになりました。火入式には師匠の藤安将平さんをはじめ、百人の方々が見守るなか、火をおこし、鉄打ちを披露しました。

自己ベストに挑戦



7月15日　鮫川中学校で校内マラソン大会が行われました。自己の体力向上と最後まで走りぬく強い精神力を養い、学級対抗の大会で学級のまとまりを深めることを目的として、郡駅伝競走大会の選手選考を兼ねました。男子は富田彦次郎地内折り返しの五・〇キロメートル、女子は広畑、巡ケ作一周の二・四キロメートルのコースを真夏の太陽が照り付けるなか、全生徒が完走しました。個人優勝者は次のとおりです。◆男子▽一年＝本郷広喜▽二年＝國井靖和▽三年＝前田雅文◆女子▽一年＝須藤千恵子▽二年＝北條ひとみ▽三年＝白坂恵美子

奉仕作業ありがとうございました



7月21日　中野長生会（矢吹啓会長）の皆さん三十四人によりさぎり荘ゲートボール場の除草やさぎり荘周辺の庭木の手入れ、除草作業の奉仕作業が行われました。また、六月十三日にも東石老人クラブ（有賀直吉会長）の皆さんによる奉仕作業が行われ、おかげさまですっかりきれいになり、利用する方々から大変喜ばれています。ありがとうございました。

フォトルポ・



渡瀬川はきれいだね！

7月15日　渡瀬小学校で自然の豊かさを体験し、自然を大切にしようと渡瀬地区青少年健全育成会と渡瀬小学校共催の「渡瀬川で遊ぼう」が行われました。学校裏を流れる渡瀬川にヤマメ二百匹を放流し水着姿になった児童六十一人がはしゃぎながらヤマメをつかみ、保護者の方たちが河川敷で塩焼きにし、おにぎりといっしょに食べ、楽しいひとときを過ごしました。

中川西恵さん(石井)インターハイに出場

6月3日　第41回福島県高等学校体育大会のソフトテニス決勝戦で、東白農商高校3年生で鮫川村出身の中川西恵さん（字石井・写真左から2番目）と高信寿子さん（塙町出身）ペアが個人の部で見事優勝しました。中川西・高信ペアは8月5日から出雲市で開かれた全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に出場し初戦突破と健闘しました。





おいしい漬物をつくりましょう

7月21日　公民館と婦人会共催による「漬物づくり」の講習会が開かれました。毎日の食卓に欠かすことのできない漬物づくりとあって、参加者が68人になり調理室に入りきれないほどでした。実習が終ってから参加者全員でテーブルを囲み、10種類以上の作りたての漬物を味わいました。暑さのせいか「紫キャベツの酢漬」に人気が集まったようでした。指導してくださった西山婦人会の矢吹テル子さん自慢のオリジナルの調味料「キムチ」や「しいたけの粉」の作り方に質問が相次ぎ最後まで熱気あふれる講習会となりました。

みんな、がんばったね

7月30日　第三十二回鮫川村少年少女球技大会が青少年広場で行われました。今年は十二チームが出場し、四コートに分かれて予選リーグを勝ち抜いた鮫川Aと青生野、西山Aと渡瀬Bが準決勝で戦い、青生野と西山Aが決勝に進み、八対二で青生野が優勝旗を勝ち取りました。また、渡瀬Bが鮫川Aを五対四で破り、三位に輝きました。



ふれあいひろば

ふたりでバトンタッチ♡♡

水戸道夫♡則子さん（西山字押野）



道夫さんは押野の水戸啓さんの四男、則子さんは石川町の出身で、昭和六十年四月二十八日結婚式を挙げました。

道夫さんの近所の方の紹介で知り合ったお二人。道夫さんは「かわいい人」と、則子さんは「口数が少なく、静かな人」がお互いの第一印象だったそうです。

お見合いをして二か月後にゴールインという超スピード結婚でしたが、「とんとん拍子に話が進み、プロポーズはありませんでした」と当時を思い出し、話してくれました。

現在、道夫さんは㈲関根軌道工業に、則子さんは子育て家事に専念しています。

長男裕介（ゆうすけ）くん（小3・後中央）、長女香里（かおり）ちゃん（小2・前右）、二女さおりちゃん（五歳・前中央）、二男桂介くん（一歳・前左）の四人のお子さんに恵まれ、「みんなが健康な家庭にしたい」と元気いっぱいの家族です。

どうぞいつまでもお幸せに。

次は

芳賀源二・智恵子さんに

バトンタッチ

文芸

俳句

白河市　阿部　正子
釣り人の青葉に寡黙続けおり
前沼　黒田　寿香
キラキラバラのしずくよ梅雨晴れ間
福島市　中井　恒峯
残雪の遠くになりて旅仕度
二反田　大平　太平
せせらぎに耳遊ばせてせりをつむ
新宿　斉須　信子
暮れなずむ高原の空大きまま
いわき市　金沢　暁舟
静かなる母と言ひがたし蟻地獄
道少田　山本五十鈴
麻原彰晃汝真事に人の子か
横座　矢吹　茂
初もぎの茄子の手応えまずまずに
押目　北條素人坂
下刈りに妻蕗採ると急ぎゆく
道少田　山本　朗史
火を招く刀匠の汗凛とあり
反田　小山田清哲
父の日に届くかみそり嫁の字で

短歌

越虫星　武
妻の活けし木蓮の花一輪に部屋は俄（にわか）に明るさをます
中野町　赤坂　朝子
スカーフをなびかせながら自転車をこげば若さも戻るが如し
田苗下　蛭田　正
渓流釣解禁なれば過疎の村に他

東京鮫川会からこんにちは



奈良澄子さん
（旧姓　緑川）
東京都練馬区在住
青生野出身

ふるさと鮫川をふり返り

私が、鮫川村から上京したのは十八歳の時、今から三十数年

わが家のアイドル

遠藤明日香ちゃん（二歳）



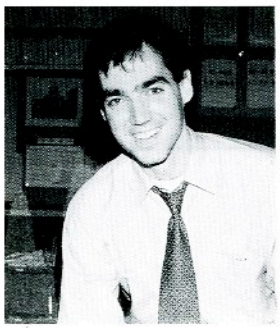
いつもおにいちゃんとけんかばかりしちゃうけれど本当はとても仲良し。明るく、素直な子に育ってほしいです　（おかあさん）

遠藤幹一・しのぶさんの長女

（渡瀬字木之根）

県ナンバーの車連なる　大石草　鈴木イミ子
浮草は風の小波に揺れながら早苗を攻めつつ寄り合いてゆく　江竜田　芳賀　洋郎
はるばると枕携え来日したロブとジョデーの新婚旅行　酒　垂　石井　カヤ
新築の孫に招かれ青たたみの香に包まれて眠る幸せ　本　坂　藤田　初枝
荒草に力をかりて立ちあがる支柱もらえぬ鉄線のつるは　大戸中　小松セツ子
畑仕事に自負してゆけど梅雨止まず夏至なる今日も陽の射さぬ畑　楯久保　森　芳子
三十年通い慣れたる野の道に鈴虫草が花つけて待つ　名　下　須藤美代子
家下のあやめの花を見て佇てば二匹の猫がひそやかに添う　田苗下　蛭田　浩市
空気清浄機オウムにありと山仕事のわれは清し無限の自然　沼ノ沢　本郷　チヨ
外泊の許可ありし日は小躍す嫁の軽トラもベンツの心地す　岫長　北條　平
働けるうちはと痩我慢事なかれ主義に今日も努める　官　代　前田　栄美
何事も歌に詠めたら素敵だろう人の評など気にもかけずに　大　塩　水野　フク
藁草履はきて朝草刈りし頃怪我もせざりしと昔語りする　大　塩　鈴木　クニ
コマーシャルにつられて買いし薬なれボケか健康か飲み忘れする　大　塩　岡部　シゲ
庭先に播きし豆の芽を三羽の鳩が啄みてさっと翔び去ってゆく　棚　橋　関根　一好
黄の苺口にふふめばほの甘くわが青春の味が広がる

エリック先生の日本見聞録



みなさんありがとう

日本へ出発する前、荷物をまとめながら、2年間はきっと長く感じるだろうな？と思っていました。しかしアメリカに帰る支度をしている今、時間がどれだけ早く過ぎ去ったかということに驚かされます。しかし、この2年間に私はたくさんのことを学んだと思います。実を言うと、日本に到着する前私は、ほとんど日本のことを知りませんでした。文化も、言葉もまったくです。知っていた言葉と言えば"アリガトウ"ぐらいだったでしょうか。もちろん今も、文化やしきたりに混乱したりすることは時々あります。

とても親切な日本人

日本の皆さんが私に見せてくれた、親切と寛大さは私を驚かせました。私が鮫川に来て一週間目のことでした。私は車を手に入れて、運転を始めるようになりました。運転は慣れているのですが、日本の細くて、カーブの多い道には混乱しがちでした。ある日、私は棚倉まで行ってみました。帰ろうとしたとき、自分が迷っていることに気が付いたのです。そこで私は一人の女性に道をたずねてみました。彼女は、一生懸命道を教えてくれてるようでしたが、残念ながら私には意味が通じませんでした。そこで彼女は（一度もあったことがない女性）タクシーを呼び寄せて、鮫川まで後ろからついてくるようにと言ったのでした。学校で、村の中で、友達といるときも、また知らない人の中でも、そんなふうに、日本で私はたくさんの親切な人に出会って来ました。

日本の思い出を決して忘れない

教員としての仕事は、すばらしかったと思います。他の英語補助教員と違って、一つの学校だけで教えることが出来て本当に良かったと思います。そのおかげで多くの鮫川の生徒とふれあうことが出来ました。私自身、日本語の難しさに頭を痛めていましたから、鮫川の生徒が英語を一生懸命勉強している姿を見て、うれしくなりました。先生も、生徒も根気強く私と接してくれたような気がします。その点、私のほうが生徒に近かったんじゃないかなと思います。とっても元気な鮫川の生徒の姿を忘れません。

最後に、私は決して日本のことを忘れないでしょう。日本での生活は私の視野を広げたと思います。人に物を教えるという経験は、私を成長させてくれたに違いありません。そして今が、日本を離れて、日本で学んだものをアメリカで生かす時だと思います。みなさん、今まで本当にありがとうございました。

前のことです。日々の生活に追われ、故郷を振り返るゆとりもなく過ごして参りましたが、ようやく、ふるさとを懐かしむ余裕が持てる年齢となりました。

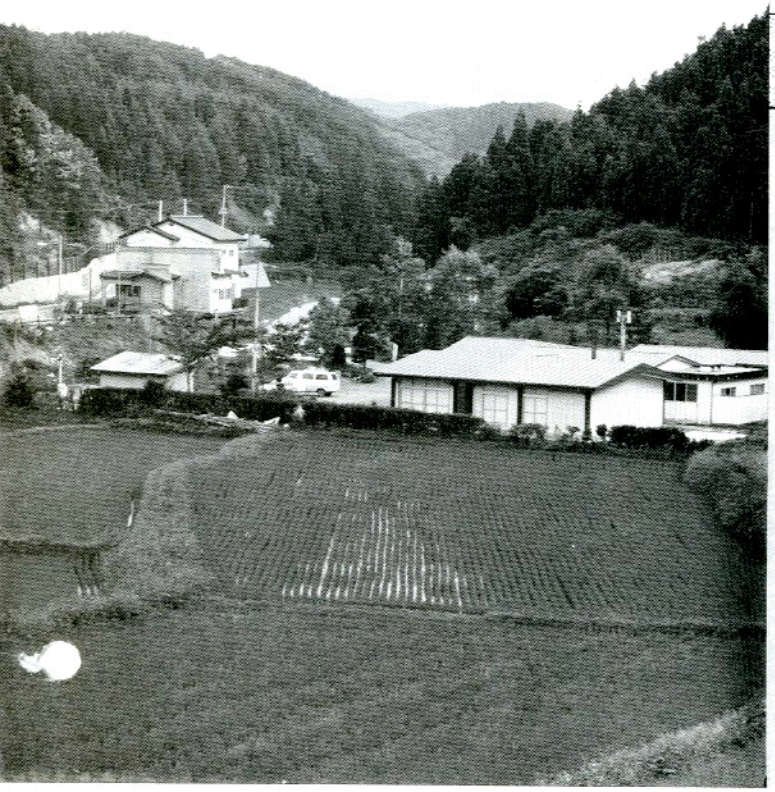
今年の五月には、いとこと〝ふるさと探訪ツアー〟に参加させて頂きました。山菜採り、手打ちそば、名所巡りと盛り沢山のツアーの中で、私の知らなかった鮫川、変わりつつある鮫川を楽しむことができました。

私の故郷〝青生野（あおの）〟は鮫川村のはずれ、塙町との境にあり、あのころは、買い物や遊びに出掛けるのにも、まず那倉まで四十分歩き、塙町まで一時間バスに乗らなければなりませんでした。今では道路も整備されて、どこへ行くにも自動車と、ずいぶん便利になったものです。

ただひたすら生活のために必死で働いて来た日々を思うと、貧乏性なのでしょうか？こうして生まれ育った故郷を、懐かしく振り返りながら旅するなど、ぜいたくとも思えます。山菜採りも、手打ちそばも、川のせせらぎも、あのころは日常でした。

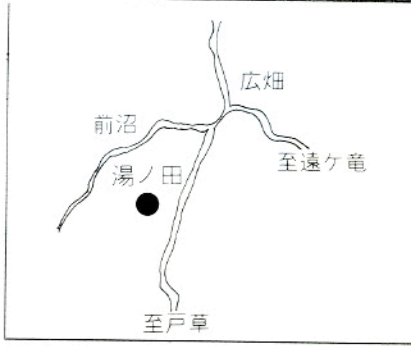
便利な世の中にあこがれ田舎を離れれば、不便だが手作りの暖かみのある生活が恋しくなり故郷はずっと変わらずにあって欲しいと思います。人間とは勝手なものですね。

今回のツアーでは、鮫川村の魅力を再認識することができ、主催者の方々に大変感謝しております。次回は是非夫と娘と共に参加し、我がふるさとを自慢したいと思います。ありがとうございました。



訪ねてみませんか鮫川の30景 ⑯

湯の田温泉郷（ゆだおんせんきょう）



大字赤坂中野字巡ケ作、赤坂東野字広畑地内を湯の田温泉郷といいます。

巡ケ作には、村営の村民保養施設「さぎり荘」があります。ゲートボールの競技場施設も整備され、お年寄りの方々がゲートボールを楽しんだり、さぎり荘で休んだりして憩いの場となっています。また広畑には、古くから名湯として知られる湯ノ田温泉があります。

ごみは分別して収集日に出しましょう

収集場所	種別	8月	9月
江竜田～中野町～福原～田尻橋～反田～鍬木田～前沼～広畑～役場～鮫川保育所～農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～伏木田～大塩コース	可燃物	3.7.10.14.17 21.24.28.31	4.7.11.14.18 21.25.28
	不燃物	4.18	1.29
さぎり荘～村営住宅赤坂中野団地コース	可燃物	3.7.10.14.17 21.24.28.31	4.7.11.14.18 21.25.28
	不燃物	2.16.30	13.27
鮫川分校（可燃物木曜のみ）鮫川中学校コース	可燃物	3.7.10.14.17 21.24.28.31	4.7.11.14.18 21.25.28
	不燃物	3.17.31	14.28
関下～越虫～丸谷地～赤小名入口～青生野小学校～世々麦～葉買～戸草～蕨ノ草～中沢入口～中沢～関口コース	可燃物	2.9.16.23.30	6.13.20.27
	不燃物	2.16.30	13.27
真坂～寅卯平～西部集落センター～茅～本坂～酒垂～滑石～塚本～塩倉～荻ノ沢～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	2.9.16.23.30	6.13.20.27
	不燃物	3.17.31	14.28
官代～楢久保～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜コース	可燃物	2.9.16.23.30	6.13.20.27
	不燃物	4.18	1.29
石井草～前田～大久保～鬼越～戸倉～赤柴～菅田～大沢入口～余所内～沼野沢～岩野草～鍛治平～薄ケ久保コース	可燃物	2.9.16.23.	6.13.20.27
	不燃物	28	22

こちら窓口

6月21日～7月20日までの届け出

お誕生おめでとうございます

住所	赤ちゃんの名前	月日	世帯主
大塩	山本飛翔（やまもとつばさ）	6/22	山本寿夫
東前田	矢吹二千翔（やぶきにちか）	7/3	矢吹浩善
青生野	岡部穂香（おかべほのか）	7/7	岡部肇
青生野	岡部慎太郎（おかべしんたろう）	7/7	岡部裕次

おくやみ申し上げます

住所	亡くなられた方	年齢	世帯主
青生野	舟木りい子	54	舟木功
青生野森田	森田俊策	78	森田俊榮
戸草	尊主	11	進士徹
岡田	舟木進士		

今月の人口（7月1日）

人口	世帯
5,081人（－6）	1,125戸（0）
男 2,521人（－3）	女 2,560人（－3）

休日のお医者さん

月日（曜）	棚倉町	塙町	石川町
8月13日(日)	藤田医院	石川医院	中島病院
20日(日)	あらまちクリニック	—	大野病院
27日(日)	核[illegible]科	—	大野診療所
9月3日(日)	和田医院	中島医院	中島病院
10日(日)	藤田医院	車田病院	原外科医院
15日(金)	大木医院	塙厚生病院	添田病院
17日(日)	東白川中央病院	石川医院	中島病院

＝あとがき＝

▼五百号を機に、役場の蔵に保存しておく創刊号から目を通してみると、村と村民の方々の歴史をみることができます。多くの皆さんの協力があってこそ、毎月発行できるものと新ためて感じました。▼広報アンケートに回答いただいた皆さんご協力ありがとうございました。寄せられました皆さんの声を大事に、そしてエネルギー源にしてより親しまれ、役に立つ「広報さめがわ」をめざしてがんばります。（石）